

原子の基本的構造、原子の電子配置に関する問題

New

問1. 以下の量子数に対応する副殻の名前と、それに含まれる軌道の数を答えよ。

各記号：主量子数(n)、方位量子数(ℓ)

(i) $n = 3, \ell = 2$

(ii) $n = 4, \ell = 1$

(iii) $n = 4, \ell = 3$

Ans.

(i) $n = 3, \ell = 2$

$3d, 5\circ$

(ii) $n = 4, \ell = 1$

$4p, 3\circ$

(iii) $n = 4, \ell = 3$

$4f, 7\circ$

解説

主殻	主量子数	方位量子数	副殻	磁気量子数	原子軌道	スピン量子数
n 軌道とエネ ルギー の大きさを 規定	ℓ 原子軌道の形 を規定		m_ℓ 特定方向に対する 傾きを規定			m_s
0~(n-1)		0~ ℓ	0~ $\pm \ell$			
K	1	0	s	0	1s	+1/2, -1/2
L	2	0	s	0	2s	+1/2, -1/2
	1	p	-1, 0, +1		2p	-1/2, +1/2
M	3	0	s	0	s	+1/2, -1/2
	1	p	-1, 0, +1		3p	-1/2, +1/2
	2	d	-2, -1, 0, +1, +2		3d	-1/2, +1/2

Pauliの排他原理(Pauli exclusion principle)

一つの原子軌道に最大2つの電子を収容可能。

一つの原子の中で、4つの量子数がすべて同じ電子は2つ以上存在しない。

これらの量子数の組み合わせ
↓
電子状態が決定

解説

(i) $n = 3, \ell = 2$

$3d$

$-\ell \dots +\ell$
 $-2, -1, 0, 1, +2$

5

解説

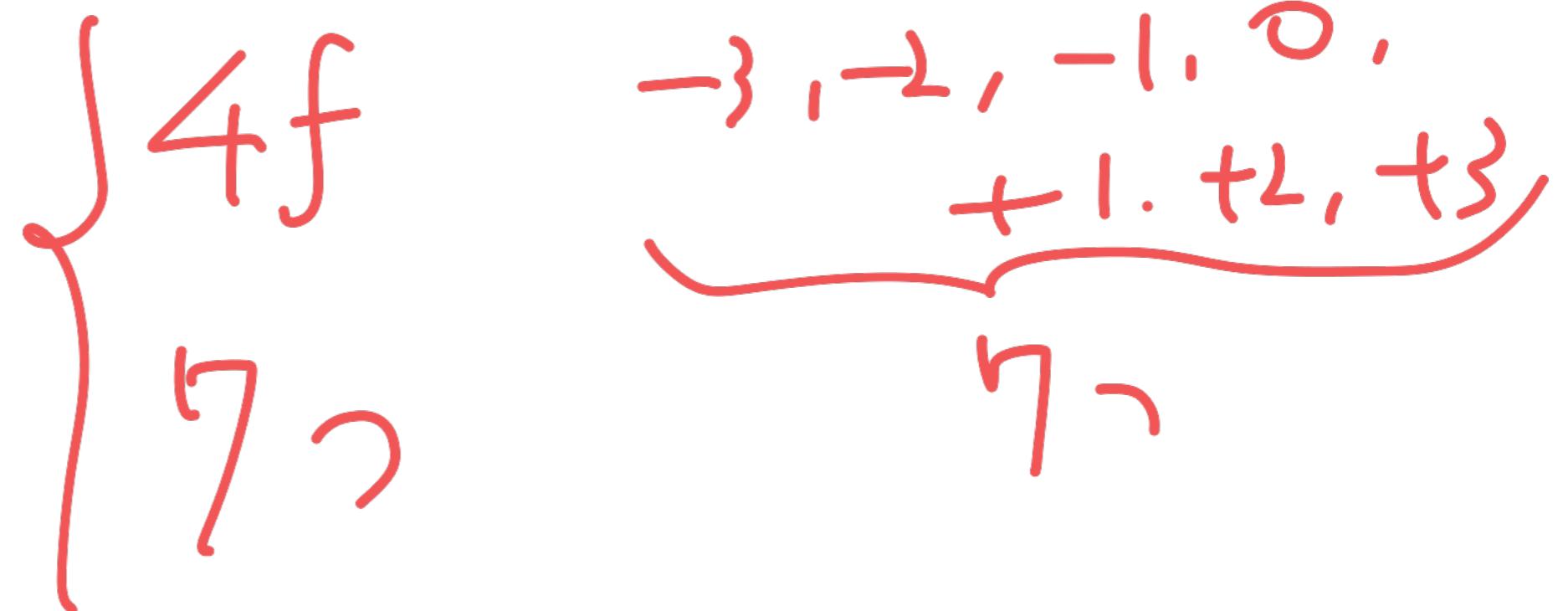
(ii) $n = \textcircled{4}, \ell = 1 \Rightarrow p$

$4p$, $-\ell \dots +\ell$
 $-1, 0, 1$
3

3↑

解説

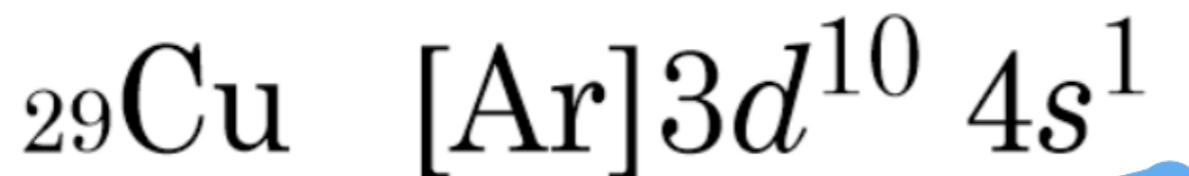
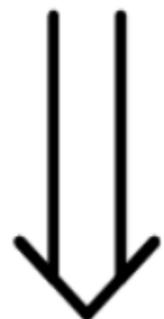
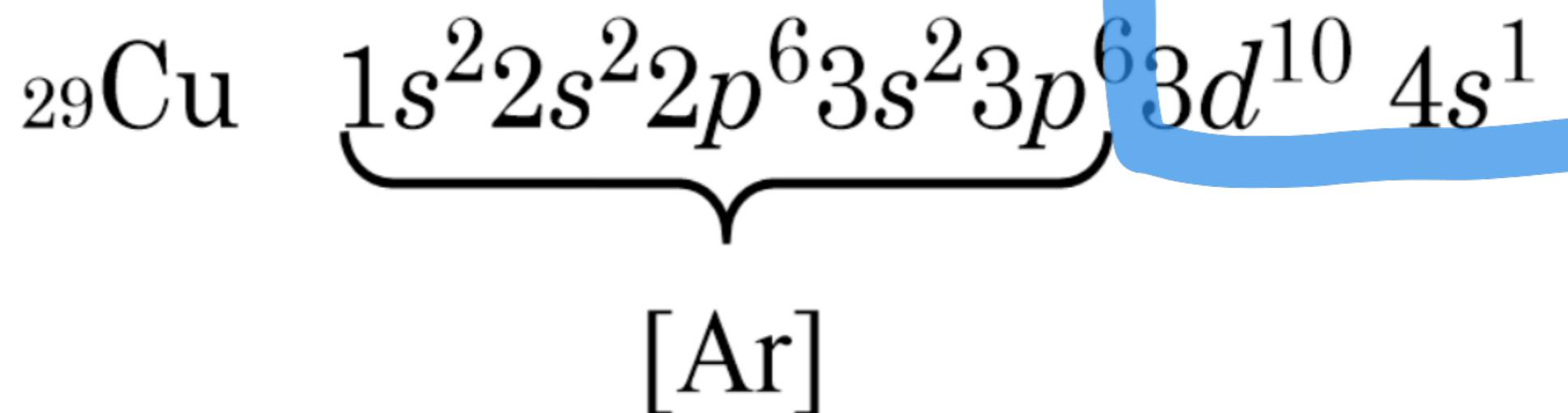
(iii) $n = 4, \ell = 3^{\text{f}}$



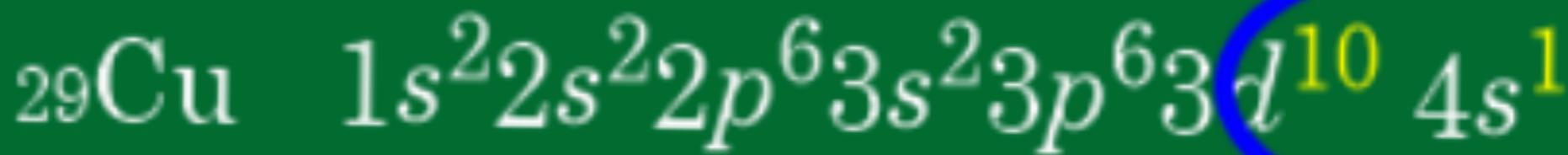
問2. Cuの基底状態での原子の電子配置を, Arの電子配置を [Ar]として, 例にならって記せ.

(例) Br [Ar]3d¹⁰4s²4p⁵

Ans.



ではなくて



このように、d軌道が
安定な**閉殻**
の状態をとることが
できるから

は
一準

問3. 原子の構造に関する記述a～dの正誤を判断し、正しいものには○を、誤りを含むものには×をつけ、かつ誤りの理由を記せ。

- a. パウリの排他原理とは、「一つの原子の中で、四つの量子数（主量子数、方位量子数、磁気量子数、スピン量子数）がすべて同じ電子は二つ以上存在しない」という原理である。
- b. 1つの原子軌道にスピン量子数を異にして2個の電子ができる。
- c. d 軌道は、磁場のないところでは、5重に縮重している。
- d. 18族元素の最外殻電子は、化学的に安定な $s^2 p^6$ という電子配置を有する。

解説

a. パウリの排他原理とは、「一つの原子の中で、四つの量子数（主量子数、方位量子数、磁気量子数、スピン量子数）がすべて同じ電子は二つ以上存在しない」という原理である。

解説

b. 1つの原子軌道にスピン量子数を異にして2個の電子が入ることができる。

解説

c. d 軌道は、磁場のないところでは、5重に縮重している。

解説

d. 18族元素の最外殻電子は、
化学的に安定な $s^2 p^6$ という電子配
置を有する。

Ans.

- a.
- b.
- c.
- d. Heのみ s^2

解説

a. パウリの排他原理とは、「一つの原子の中で、四つの量子数（主量子数、方位量子数、磁気量子数、スピン量子数）がすべて同じ電子は二つ以上存在しない」という原理である。

甘一

解説

+½, -½

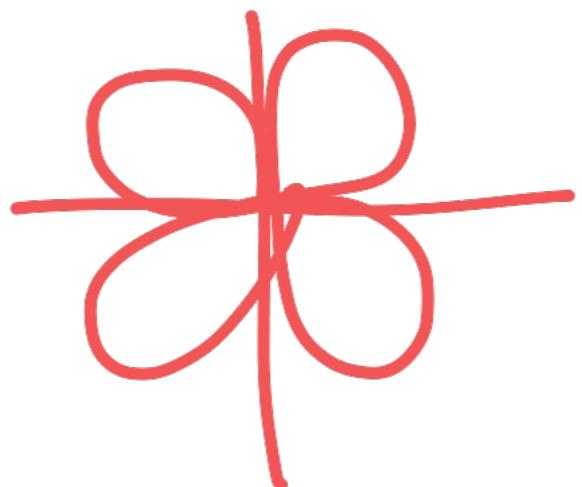
b. 1つの原子軌道にスピン量子数を異にして2個の電子が入ることができる。

↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓

解説

c. d 軌道は、磁場のないところでは、
5重に縮重している。

[d_{xy} , d_{yz} , d_{zx}]



$d_{x^2-y^2}$, d_{z^2}



解説

d. 18族元素の最外殻電子は.

化学的に安定な $s^2 p^6$ という電子配置を有する.



Heを除く